

自動車部品保険「パーツケア」

中古車市場拡大でニーズ増す

トライアングル少短

近年、中古車市場の拡大や、車両使用年数が長期化傾向にあることから、保証期間の延長や故障の際の修理費用の高額化に備えたいという声が高まっている。トライアングル少額短期保険が販売している自動車部品保険「パーツケア」は自動車部品の修理費用を補償する保険で、近年増加している福祉車両にも対応している。福祉車両で故障の多いリフトやスロープなどの特殊装置のパーツも補償の対象となるプランも用意し、注目を集めている。

同社が調べたデータによると、新車保証の切れ目から故障発生率が上がり、中古車を保証付きで購入した車の約18%に何らかの故障が発生しているという。また、一般財団法人自動車検査登録情報協会のデータによると2017年3月末の乗用車(軽自動車を除く)の平均使用年数は12.91年となり、前年比で0.15年長期化した。2年連続で増加するなど、長期化傾向にある。

自動車部品保険「パーツケア」は、保有自動車の排気量、年式、走行距離の3要素で保険料が決まり、保険期間内であれば修理回数に関わらず年間200万円まで補償する。メーカー保証や中古車購入時に付帯された保証などが切れた後の故障発生時の経済的リスクを軽減できる。

保険の対象となる部品は400項目以上で、シリンダーヘッドやクラックシャフトなどのエンジン関連をはじめ、遮熱板やセンサーマフラーなどの排気装置、A/Tトランスミッションなどの動力伝達関連、ブレーキ、パワーウィンドウ、ドア

ロック、電動ミラーなど故障リスクの高い電装装置もカバーする。修理は、全国1万カ所以上の同社指定工場が行っており、リサイクル部品も使用することから環境保全にも貢献できる。また、レスキューサービス(バッテリージャンプ



「パーツケア パーツケアライト」パンフレット

増加する福祉車両にも対応

ング、ドア解錠、スペアタイヤ交換、現場給油作業)や遠方トラブル対応(タクシー、レンタカーサポート、宿泊費用サポート、修理後搬送)などのロードサービスも利用することができ、外出先でのトラブルにも対応可能だ。

15年からは顧客からの補償プランの充実や対象車種の拡大要望に応え、補償範囲を細分化した4つのプランと、補償する範囲に福祉車両を加えたプランの、計5プランを追加した「パーツケアライト」の発売も開始した。

保険期間も「1年」のみから「2年」を追加し、対象となる自動車の用途・使用目的についても、「日常レジャー用」および「通勤・通学用」に限定していたものを、「業務用」自動車も対象とした。

新プランの開発に当たり、特に福祉車両のニーズを強く感じたという。超高齢社会となった現在、高齢者や障がい者、あるいは在宅介護に必要な福祉車両の市場は大きく拡大している。移動の手段としてさまざまな福祉車両が開発されているため、今後も需要が増すと考えられる。

営業推進部営業推進第2グループの香田力グループ長は「当保険に加入することで、故障時のトラブルリスクの低減や、中古車に対する不安感が軽減されると思う。補償も細分化しているのだから、お客さまのニーズ、状況に合わせて選んでほしい。今後は車種別の故障案件のデータを集約して、補償内容に反映していくことも考えている」と話している。

「パーツケア」は、保有自動車の排気量、年式、走行距離の3要素で保険料が決まり、保険期間内であれば修理回数に関わらず年間200万円まで補償する。メーカー保証や中古車購入時に付帯された保証などが切れた後の故障発生時の経済的リスクを軽減できる。